

保育所保育指針の概要(現行) ②

保育の方法

- 保育の方法として保育の留意点を示している
 - ・ 家庭、地域の生活実態を把握し、適切な保護、世話を行う
 - ・ 子どもの発達理解、特性に応じ、発達の課題に配慮した保育
 - ・ 子どもの生活リズムを大切にし、生活の流れを安定させる
 - ・ 子どもの主体的活動を重視し、遊びを通して保育

など

子どもの発達

- 子どもの発達の特性を示している
 - ・ 乳幼児期は心身の発育・発達が著しく、一人一人の個人差が大きい
 - ・ 子どもの発達は、環境内の人や自然、事物、出来事などとの相互作用の結果として進む(大人との相互作用と、大人との関係を土台とした子ども同士の社会的相互作用)
 - ・ 子どもの主体活動の中心は遊びである